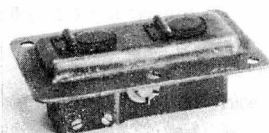


その方位に転換される。ついで第1分解車が突放されつぎの第2分解車に対する進路設定に支障がない転軸器箇所の軌道回路を通過するとただちに、第2分解車に対する進路が自動的に開通する。以下同様に貨車自体によってつぎの分解車に対し、順次その進路を自動的に制御する。かように貨車自体によって自動的に仕訳されるので、仕訳能率が増しかつ手動扱のように誤扱による再散転のような無駄な作業もなくなる。→貨車停車場。(小泉章三)

かしゃしのびじょう 貨車忍び錠 鎖錠保護を要する貨物を積載した有がい貨車の戸が輸送中に容易に開かれ、貨物が盗難にかかるなどの悪性事故を防止するための貨車鎖錠装置。この装置は有がい貨車のうちワム 23000 号・ワム 90000 号およびワ 22000 号形式に取付けられている。



貨車忍び錠

構造は引戸の外側、戸尻の下部に取付けてある錠が、かぎを回転することによって、車体の入口柱に忍び錠がかかり鎖錠される。これを開戸するためにはかぎを用い数回転する。かぎは発駅および着駅に備付けてある。この装置は昭和 25 年から国鉄において実施されたものである。(坪谷忠雄)

かしゃしゃひょう 貨車車票 (英) freight car label 貨車を輸送する場合にその輸送にたずさわる関係取扱者が貨車の行先、積載貨物の内容および輸送条件等の必要事項を簡単に知ることが必要となるが、これらの必要事項を簡明に表示するため設けられた一定様式の厚紙を貨車車票と称し、単に車票といわれている。貨車の両側に取付けてある貨車車票枠(わく)にそう入使用することをたてまえるとするが、空車票にかぎって貨車表示票枠にそう入して使用する。

車票は発着駅・品名その他の輸送条件を表示することとなっているのであるが、その様式が統一されており種類もあまり多くなく、かつ表示方もできるだけ簡単明瞭でなければならない。したがってこの車票で不十分な点はさらに*貨車表示票で補足することになっている。

したがって車票に表示すべきものは輸送上不可欠の事項すなわち着駅・貨車記号番号・品名・発駅・発月日・扱トン数・荷受人等のほか貨車輸送上必要の最少限を記入することとし、さらに輸送条件等は車票そのものを区別使用することとしている。

現在使用されている貨車車票は普通車票、危険品車票、急送品車票、列車指定車票、小口混載車票、積合車票、代用車票、特定空車票、普通空車票の 9 種類であるが、このほか門司鉄道管理局の炭票、札幌鉄道管理局の石炭票のようなものがある。しかし貨車は 1 鉄道管理局のみで移動することは少なく、広く他管内にまたがり移動するものであるから、本社において制定するたてまえを採り、鉄道管理局で特別の車票を制定する場合には、本社の承認を受けなければならないこととなっている。

現在国鉄で制定している各車票の種類および使用方はつぎのとおりである。

危険品車票 危険品だけを積載した貨車に使用する。

急送品車票 火薬類以外の急送品を積載した場合または急送品と他の貨物とを車扱として混載し急送品が 1t をこえる場合に使用する。なお貨主の請求により輸送列車または連絡船を指定した急送品積車には列車指定車票を使用する。またこの車票は俗に**桃色車票**・**赤色車票**とも称される。

列車指定車票 貨主の請求に応じて輸送列車または連絡船を指定した場合に使用する。しかし危険品車票を使用した貨車は、

運転保安上からみてその取扱いに注意を要するので、危険品本来の危険品車票を使用し、列車指定表示票を併用することとしている。

小口混載車票 小口混載貨物積車に使用する。

積合車票 危険品のみを積載した積合車には危険品車票、急送品のみを積載した場合には急送品車票を使用するのであるが、その他の積合車を仕立てた場合に積合車票を使用する。ただし積合車の仕立方の指定で危険品積合車または急送品積合車に指定されている場合には、その積合車に他の貨物が混載されていても指定された車票を使用しなければならない。なお積合車以外の車票を使用する場合には、その車票の品名欄に「積合」と記入しなければならない。

代用車票 代用車であって危険品のみを積載することに指定されてあるものには危険品車票を、急送品のみを積載することに指定されてあるものには急送品車票を使用するが、その他の代用車にはこの代用車票を使用する。代用車運行方で危険品代用車または急送品代用車と指定してある場合は、他の貨物を混載している場合でもそれぞれ危険品車票・急送品車票を使用し、品名欄に「代用」と記入しなければならない。

特定空車票 他の支社管内へ回送する空車に使用するのをたてまえるとする。また支社または鉄道管理局が、とくに空車を緊急かつ正確に輸送せんがために指定して、この車票を使用することができるのである。本車票は普通空車票とともに他車票の半分の大きさで貨車表示票大となっており、使用の際は貨車表示票枠にそう入する。

普通空車票 特定空車票を使用しない空貨車(甲種鉄道車両を除く)の輸送に用いられる。ただし支社の指定するものおよび 1 鉄道管理局内に発着するものについては、使用済みの車票の裏面を使用する。

普通車票 以上の車票を使用することのできない貨車に用いるもので、一般に車扱、シート・ローブの 1 車積、手荷物、小荷物、郵便物および特別扱新聞紙・雑誌積車等に使用するのが普通である。

貨車を輸送する場合には必ず車票を貨車の両側の車票枠にそう入するのが原則であるが、つぎの場合には例外として車票を省略することができる。

(1) 鉄道管理局長がとくに定めた場合 (2) 発着駅間を直通運転する専用列車で輸送する場合 (3) 貨物を積載しないで単に業務用のみに使用する緩急車 (4) 甲種の鉄道車両。

1 車に積載することのできないような長尺物を輸送する場合には、荷重負担車の前方・後方または中間に荷重のかからない遊車を使用することがある。この場合に遊車の換算は空車換算が適用されているが、遊車に使用する車票は、その遊車を必要とする貨物積車に対して使用する車票と同種のものを使用し、空車票は使用しないのである。(菅野太次)

かしゃしゃうはい 貨車集配 貨車の運用計画にもとづいて、鉄道管理局が駅に対して貨車の操縦を指示することをいう。駅が荷主に対して行う貨車提供の前提をなすものである。すなわち貨車集配は到着貨車の多い駅から少ない駅に空車を回送することと、発送整備車を停滞させることなく輸送することである。これらの業務を能率的に行うには、鉄道管理局は隣接管内から送りこまれてくる貨車を円滑に受込み、自管内から隣接管内へ送り出す貨車を的確に送り出して、他の管内の輸送業務に支障を与えないように処理するとともに、自管内における輸送能力をあげるようにすることである。

鉄道管理局の貨車集配方式はつぎの 2 に分けられる。その 1